

平成23年2月吉日

脳卒中地域連携パス 維持期・在宅期へ拡大

当院では平成20年9月より、脳卒中患者に対して北摂三田脳卒中連携シェアリンググループを組織し、地域の回復期リハビリテーション病院などと地域連携パス（共通の診療計画書や診療情報提供書を用いた患者のご紹介、診療情報の共有など）を用いた連携を実施し、脳卒中患者のQOLの向上、再発予防、あるいは日常生活の維持向上に取り組んでおります。

この度、三田市、篠山市にある26医療機関の先生方にこの趣旨にご賛同いただき、ご参加いただくこととなりました。これで、これまでの急性期⇒回復期の連携から、急性期⇒回復期⇒維持期・在宅期までのシームレスな連携を図ることができます。

今後も患者さまやその家族の方々が、住み慣れた地域で自分らしい生活ができるよう、地域の医療機関の先生方と連携、協同のもと取り組んでまいりたいと思っております。

なお、参加医療機関については、当院ホームページの「地域医療連携」⇒「地域連携パス」欄に参加医療機関の一覧を掲載させていただいておりますのでご参照いただければ幸いです。

北摂三田脳卒中連携シェアリンググループ

代表世話人	三田市民病院	脳神経外科部長	柴田 裕次
事務局		地域連携センター長	吉本 勉